

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 FAX:03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年6月17日 No.3 国際会議まであと46日

北海道の自治体関係者237氏の賛同署名を外務省に提出



署名を手渡す安井事務局次長

日本原水協は16日、外務省を訪問し、北海道原水協が平和行進を通じて集めた、「討論記録を核密約と認定し、これの廃棄を米国に通告し、非核三原則の厳正な実行を求める」賛同署名・自治体首長、議会議長、教育長など総数237人分を提出しました。外務省は、北米局日米安全保障条約課の長野将光課長補佐、和田敦朗事務官が対応。日本原水協からは安井正和事務局次長と田中章史担当常任理事が出席しました。

安井事務局次長は237人の賛同署名の現物を手渡し、「米艦船の入港

に際して『事前協議がないから核兵器は積んでいない』との説明で受け入れてきた北海道の自治体関係者は政府に不信を抱いている」「政府として核密約の破棄を米政府に通告し、非核三原則を実行すべき」と要請しました。



237人分の署名簿

駅構内で原爆写真展示、5時間ロングランで477署名 秋田



秋田駅構内で写真を展示し署名集め

秋田県原水協は13日、秋田駅のポポロードで原爆写真とNPT再検討会議ニューヨーク行動の写真を展示して、10時から午後3時まで5時間のロングラン署名を行いました。

秋田合唱団のさわやかな歌声が響き、子どもたちには風船が手渡されました。高校生や中学生が熱心に写真に見入り、説明を聞いて署名をしてくれました。

中国や北朝鮮の核問題、普天間基地や沖縄の米軍基地問題で意見交換がされました。

行動には36人が参加し、477署名と3,960円のカンパがよせられました。

知事・県下全首長の署名賛同ちからに平和行進、世界大会へー奈良

奈良県原水協は5月26日、NPT再検討会議報告会を開きました。県原水協から参加した代表14人のうち12人が参加・報告し、奈良民医連の永松孝志会長と吉川周作副院長(土庫病院)も、パワーポイントで報告しました。また、県原水協代表団の他にもうたごえ協議会や生協、宗平協の代表として参加した人からも報告がありました。

参加者からは、「全体で1~2万人の参加と聞き、いかに人間が平和を望んでいるかということがよくわかった」「この流れを平和行進や原水禁世界大会への参加につなげていきたい」などの声が寄せられました。

奈良県原水協は全国に先駆けて県下全市町村長と知事から「核兵器のない世界を」署名を集めました。県原水協は、当面の活動として6月12日から始まっている県下全市町村をまわる網の目行進と原水爆禁止世界大会への参加組織に全力でとりくむことにしています。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。